

読

Yomiuri Nippon
Symphony
55th
Orchestra
55th Anniversary

響

年末に響く「歓喜の歌」

心震わす壮大なクライマックス



ベルリン・フィルやロンドン響などを指揮し、
古典派の解釈でも評価の高いフランスの名匠

指揮
エマニュエル・クリヴィヌ

Conductor=Emmanuel Krivine
© Philippe Hurlin

ソプラノ
**インガー・
ダム=イェンセン**

Soprano=Inger Dam-Jensen
© Isak Hoffmeyer



メゾ・ソプラノ
清水 華澄

Mezzo-Soprano
Kazumi Shigemitsu
© Yomiuri Nippon



テノール
**ドミニク・
ヴォルティヒ**

Tenor=
Dominik Wortig
© Sebastian Eisaesser



バス
妻屋 秀和

Bass=Hidekazu Tsumaya

合唱=新国立劇場合唱団 (合唱指揮=三澤 洋史)
Chorus=New National Theatre Chorus (Chorusmaster=Hirofumi Misawa)



読売日本交響楽団 2017年〈第九〉演奏会

●第202回 日曜マチネシリーズ

12月17日 (日) 14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

S ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ A ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ B ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ C ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~

●FUJITSU Presents Concert (第九) 特別演奏会

12月19日 (火) 19時開演 サントリーホール (赤坂)

※第1部にオルガン・ソロ演奏 (大塚直哉) あり

S ¥9,500 A ¥7,500 B ¥6,000 C ¥4,500

●第607回 名曲シリーズ

12月20日 (水) 19時開演 サントリーホール (赤坂)

S ¥9,500 A ¥7,500 B ¥6,000 C ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~

●第202回 土曜マチネシリーズ

12月23日 (土・祝) 14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

S ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ A ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ B ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ C ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~

●第99回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ

12月24日 (日) 14時開演 横浜みなとみらいホール (横浜)

S ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ A ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ B ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~ C ~~sol~~ ~~sol~~ ~~sol~~

ベートーヴェン： 交響曲 第9番

Beethoven: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

ニ短調 作品125 「合唱付き」

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390

(10:00-18:00・年中無休)

読響チケットWEB: <http://yomikyo.pia.jp/>

*短途選抜可。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料。

プレイガイド: チケットぴあ 他

東京芸術劇場と横浜みなとみらいホールには一時託児施設があります(要事前予約)。
学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。
未成年児童のご入場は、固くお断りいたします。
都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

協賛: 新菱冷熱工業株式会社 (17日)、富士通株式会社 (19日)、NTTコミュニケーションズ株式会社 (23日)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) (17、20、23、24日)

事業提携: 東京芸術劇場 (17、23日) 協力: 横浜みなとみらいホール (24日)

<http://yomikyo.or.jp/>

クラシック音楽の最高傑作 《歓喜の歌》 時代を超え、心に響きわたる

クラシック音楽の歴史に燦然と輝く不朽の名作、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」。最終楽章で高らかに響く「歓喜の歌」は、年の瀬の日本を彩る風物詩として親しまれています。〈第九〉には、国境を越え、世代を超えて、多くの人に感動をもたらす特別な魅力があるのです。

今年の読響〈第九〉公演、指揮には世界的名匠エマニュエル・クリヴィヌが登場します。

フランス国立管の音楽監督を務め、ベルリン・フィルやロイヤル・コンサートヘボウ管など世界の一流楽団と共演しているマエストロです。

パリ・オペラ座など世界各地で歌うソプラノのダム＝イェンセンをはじめ国際的に活躍する独唱陣、

日本が誇るプロ合唱団の新国立劇場合唱団とともに、読響がお届けする至福のひとつときをご堪能ください。



指揮

エマニュエル・クリヴィヌ
Emmanuel Krivine

今年9月、名門フランス国立管の音楽監督に就任したフランスを代表する名匠。フランス放送フィルの首席客演指揮者、リヨン国立管の音楽監督、バルセロナ響の首席客演指揮者、ルクセンブルク・フィルの音楽監督などを歴任。現在は、2004年に創設したオリジナル楽器の楽団ラ・シャンブル・フィルの首席指揮者やスコットランド室内管の首席客演指揮者を兼任している。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ロンドン響、シカゴ響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ボストン響など世界の名だたる楽団を指揮し続けている。録音も数多く、近年ではナイーブ・レーベルに録音したラ・シャンブル・フィルとのベートーヴェンの交響曲全集は、英グラモフォン誌で絶賛されるなど高い評価を得た。読響には03年以来、14年ぶりに登場する。



ソプラノ

インガー・ダム＝イェンセン
Inger Dam-Jensen

世界各地で聴衆を魅了するデンマークの歌姫。カーディフ国際声楽コンクール優勝。ドホナーニ、C.デイヴィス、ハイティンク、アシュケナージらの指揮で、ニューヨーク・フィル、ベルリン・ドイツ響、デンマーク国立放送響、バーミンガム市響など世界の一流楽団と共演している。パリ・オペラ座、英国ロイヤル・オペラなどでも活躍している。



メゾ・ソプラノ

清水 華澄
Kasumi Shimizu

目覚ましい躍進をみせるメゾの大家。バーデン市立劇場「ごもり」オルロフスキー、二期会「ドン・カルロ」エボリ公女、新国立劇場及び中国国家大劇院「アイダ」アムネリスなどで絶賛を博した。マラーの交響曲(2番、8番)の独唱を得意とし、主要楽団と多数共演。来年2月、二期会「ローエン格林」でオルトルート役を歌う。二期会会員。



テノール

ドミニク・ヴォルティヒ
Dominik Wortig

宗教曲やリートで国際的に活躍するドイツ人テノール。ハーゲン歌劇場やヴッパータル歌劇場で数多く歌い、ミラノ・スカラ座、ドレスデン国立歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場などに客演している。ギーレン、プロムシュテット、ヘンゲルブロック、リリングら巨匠と共演している。現在はアウグスブルク大学レオポルト・モーツァルト・センター教授。



バス

妻屋 秀和
Hidekazu Tsumaya

温かみのある深い声を持つ、日本を代表するバス歌手。1994年から2001年までライプツィヒ歌劇場、02年から11年までワイマール国民劇場の専属歌手を務めた。ベルリン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、新国立劇場などに客演し、幅広いレパートリーで国際的に活躍している。今年7月の二期会「ばらの騎士」のオックス役に絶賛された。二期会会員。

新国立劇場合唱団 (合唱指揮=三澤 洋史)

New National Theatre Chorus (Chorusmaster=Hirofumi Misawa)

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響〈第九〉のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。2007年以来、読響〈第九〉公演に出演を続けている。

読響日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読響新聞社、日本テレビ放送網、読響テレビのグループ3社を母体に設立。現在、常任指揮者はシルヴァン・カンブルランが務めている。サントリーホールや東京芸術劇場などで多数の公演を開催するほか、小中学校や病院で演奏するなど、クラシック音楽ファンのすそ野拡大にも地道な努力を続けている。

ntt.com



**Transform your business,
transcend expectations
with our technologically
advanced solutions.**

想像を超えるスピードで進化するAIやビッグデータ、IoTの世界。今、求められているのは、
既成の枠組みや概念を取り払い、全てを変革する力。
私たちはその力を、スマートなICTソリューションで届けたい。
お客様の期待を超えて、
ビジネスの新しい未来をかなえるために。

